

## 平成 22 年度及び 23 年度検討会議で抽出された課題の達成状況

必要な調査等		内 容	実施状況	備 考
植生調査	下層植生・痕跡調査	エゾシカの食害に着目した植生調査を行う	冬：H23～ 夏・秋：H25～	資料 2-1 資料 3-1
	実験柵の設置	植生保護柵内外の植生を比較し、エゾシカ密度操作の必要性等を検討	H25 設置予定	資料 3-1
エゾシカ生息状況調査	エゾシカ生息状況調査	ライトセンサスやインターバルカメラ等によるシカの分布や日周行動の調査	H24 にインターバルカメラ等による調査を実施	資料 2-3
	湧水地調査	エゾシカの踏圧や樹皮剥ぎ等による湧水環境への影響や、タンチョウとの軋轢等に関する調査	H22 に一部実施 (H23 検討会議で報告)	
	テレメトリー調査	エゾシカの移動ルート（夏個体群、冬個体群、日周活動）を把握する。	H25or26 ～ 実施を計画	資料 3-3
	空中写真を用いたシカ道の把握	撮影年代の異なる空中写真からシカ道を判読し、利用頻度の変化や利用の多い環境を推定する。	H24 に一部実施 2004・2010 1×1km 5 箇所	資料 2-4
捕獲	エゾシカの歴史的な分布調査	文献調査等により釧路湿原周辺の過去のエゾシカ生息状況等を把握し、現状がどのような状況であるか推定	H22 に一部実施	
	ヘリコプターによるシカ分布調査	ヘリコプターを利用してシカの分布状況を広範囲に調査する。	2012 年 3 月に実施。	資料 2-2 資料 2-6
意識調査等	個体数調整手法の検討	個体数調整の適地、手法の検討し、条件整理を行う。	H24 に 5 地域について実施	資料 2-5 資料 3-2
	ヒアリング調査	住民、ハンター、ガイドなどからシカの生息・採食状況について聞き取り	未実施	
対策実施体制	地域の意識調査	地域コンセンサス形成のため、住民、観光事業者、農林業者等に対するシカに関するアンケート調査を行う。	未実施	
	連絡協議会（仮称）の設立	釧路湿原におけるエゾシカの研究・管理を行う研究者、行政、NPO、住民を集めた会議を設置する。	H23 に「釧路湿原エゾシカ対策検討会議」設置	
	生態系維持回復事業の目標シナリオの設定	生態系維持回復事業計画における目標（シナリオ）を複数作成する。事業計画に関する検討をおこなう。	今回会議より検討開始	資料 4-1 資料 4-2
その他	エゾシカ対策の体制づくり	国立公園とその周辺でエゾシカ対策を実施する主体が連携できる体制を構築する。	未実施	
	各実施事業の可視化	実施主体の異なる事業をホームページ等に集約し、整理する。	未実施	